

平成 24 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 24 年 7 月 12 日（木） 15：00～17：10
場 所： 琉球大学医学部附属病院がんセンター
出席者： 10 名 池田克己（沖縄病院）、志茂淳子（ことぶき指定居宅介護支援事業所）
望月祥子（ハートライフ病院）、吉本多佳子（沖縄県立中部病院）、
樋口美智子（那覇市立病院）、宮良久美江（沖縄県立八重山病院）、
永吉美幸（県立南部医療センター・こども医療センター）、
増田昌人、石郷岡美穂、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、
欠席者： 2 名 上原弘美（沖縄県地域統括相談支援センター）、下地幸子（県立宮古病院）
陪席者： 5 名 中上穂子（国立病院機構沖縄病院・MSW）、
青沼裕美子・本村悠子・小禄範子（沖縄県立宮古病院・看護師）、
井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 24 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（4～6 月）
資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づき、4～6 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」の報告書について、確認が行われた。
2. がん相談件数（4～6 月）
資料 3-1, 3-2, 3-3, 3-4 に基づき、樋口部会長より、各拠点病院のがん相談件数（4～6 月）について報告があった。
3. 「患者必携」地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック 第 2 版の配布状況について
資料 4 に基づき、事務方より第 2 版の配布については、居宅介護支援事業所など新たな施設も含め、県が随時各施設へ送付していることが報告された。
吉本委員より、少なくとも拠点病院は足並みを揃えて現在のアンケート用紙を配布した方がよいとの意見が出され、拠点病院では引き続きアンケートを実施することが承認された。

【協議事項】

1. 次期沖縄県がん対策推進基本計画（協議会案）について
資料 5 のたたき台を基に、次期沖縄県がん対策推進基本計画に対する協議会（案）について協議がなされた。
(1)がんに関する相談支援と情報提供
事務方より、7 月 6 日の協議会でがん患者会から「がん患者さんへの（どの病院で

どのような治療が受けられるか) 情報提供」の項目を入れてほしいとの要望があったとの報告があり、施策の4本柱に、5本目の柱として5. がん患者さんへの情報提供を追加することが承認された。

樋口部会長より、全国的には一般的にどこまで公開されているかその情報を調べて、最低限アップしておきたい共通の病院機能調査の数値データを公開した方がよいとの意見が出された。事務方で、目標の中に各病院が病院機能調査の結果データを開示する内容の文面を検討することになった。

(2)がん患者の就労を含めた社会的な問題

樋口部会長より、7月6日の協議会で、当部会にも就労支援の役割を担ってほしいとの要望があったと報告がなされ、事務方より、施策1.～5.のうち一つを削り新たに「経済支援」の項目を入れるようにしたいとの提案があった。

吉本委員より、目標の29年度までの目標の数値評価はやり方・集約の仕方があいまいで、病院としてもアプローチしにくいとの意見が出された。

石郷岡委員より、国保の支援策として①傷病手当金の支給、②免除制度(外来の限度額認定証の発行)を盛り込み、国に働きかけるということを載せたいとの意見が出された。

施策2.を削除し、小児がん患者のキャリア形成支援体制も削除して小児がんの部門に入れることが承認された。施策4.は介護休暇の取得率を上げられるよう県が企業をバックアップすること、施策5.は既存の施設と連携して就職支援を行うということでした承された。小児がんの子の親が失職離職に追い込まれている現状への理解、離島のがん患者が本島病院に行く時の経済負担の軽減、介護休暇や長期休暇を取りやすい環境作りの声を上げ、化学療法の費用補助などについても検討することが協議された。

事務方でスケジュールを確認しながら、がん計画を修正していくようにすることが承認された。

2. 平成24年度相談支援部会の年間事業計画・行動計画について

資料6を基に、各施策の担当者が下記のように決定された。2.と5.の項目については既に完了。下線の方は、主担当者。

1. 樋口・石郷岡・大久保、
3. 望月・池田・志茂・宮良・下地
4. 大久保、
6. 樋口・増田、
7. 大久保、
8. 吉本・樋口・宮良・下地・大久保、
9. 樋口・吉本・大久保
10. 永吉・石郷岡・上原・宮良・下地、
11. 樋口

3. 地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」第3版の更新内容について

事務方より、編集方針や内容は大きくは変えず、文言の修正やレイアウトを統一する方向で進めたいとの提案がなされた。

増田委員より、使った方の生の声も取り入れたいこと、患者会からの厳しい声もありよい配布方法がないか思案中であるとの意見が出された。

望月委員より、拠点病院以外の病院では見たことさえないワーカーもいるので、配布や普及に力を入れてはどうかとの提案があった。

樋口部会長より、院内で入院患者さんに配れるシステムと体制づくりを各病院で作ることが課題であるとの提案があった。

各病院でもフローの見直しや看護師など医師以外の医療スタッフへの説明、周知徹底を強化するようにしていくことが承認された。

4. 『患者のためのチェックリスト』に対する医療者への周知用パンフレットの最終確認について

別紙資料に基づき、上部の説明部分に、医師から患者さんへ説明してほしい旨の文章について協議した。横書きの方がレイアウトとしても見やすいとの意見が多かった。

吉本委員より、患者さんに治療にあたっての説明を受けたかのアンケート調査（評価）は少数でもやった方がよいとの提案があった。

5. セカンドオピニオン・アンケート報告のHPのアップ作業について

資料7に基づき、本資料について1週間後を目途にHPへアップすることが承認された。

6. 「がん種別」セカンドオピニオンリスト作成について

資料8に基づき、事務方より、依頼文を発送してリストを集約していくので、各病院での準備に入っていただくよう依頼があった。

増田委員より、がん診療に関する専門医は公開しているが、指導医はあまり公開していないため、セカンドオピニオンはある一定の資格や経験をもった指導医にお願いしたいとの意見があった。

7. 相談支援センターにおける相談件数の数え方について（確認）

参考資料に基づき、樋口部会長より、平成21年に厚労省からの事務連絡から、相談件数の数え方（カウントの方法）は、同日に同一相談者が相談支援センターを複数利用した場合はその度に1件とカウントするとの確認がなされた。

9. 次回、相談支援部会開催日について

次回の相談支援部会開催日程については、以下の第1、第2候補日を目途に調整することが承認された。

第1候補日：平成24年10月11日（木）

第2候補日： 平成24年10月18日（木）

場 所： 15：00～ 琉大病院がんセンター

